

§ 協会の動き（平成29年6・7月分）

☆ 石綿作業主任者技能講習を開催

[埼玉労働局登録教習・技術研究委員会事業]

埼玉県労働局登録教習機関として、6月1日(木)2日(金)に石綿作業主任者技能講習を行いました。ケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏と土戸労働衛生コンサルタント事務所の土戸善博氏を講師に迎え、講習終了後に実施される修了試験には9名の受講生全員が合格し修了証が発行されました。



☆ あと施工アンカー講習会を開催

[技術研究委員会事業]

6月8日(木)、建産連研修センターにおいてあと施工アンカー講習会を開催いたしました。

講師はサンコーテクノ(株)ファスニング営業本部の井上節夫氏、アシスタントに大久保英木氏と本館彰文氏。はじめに大久保氏が「この講習は、仕事の品質の確保・向上を狙った講習です。普段の仕事と見比べて間違いや認識違いなどがあれば今日から正してほしい。正確な施工を実践すればアンカー自体は十分な強度を有するものです。」と日頃の作業工程を再確認する必要性を述べました。

施工デモではオールアンカー、グリップアンカー、トルコンアンカーなどを実際に取り付け、試験機を用いて強度を確認。座学では、あと施工アンカーの使用例や分類、また金属拡張アンカーと接着アンカーについて、施工時の要点・注意事項などが説明され、下孔の切粉が残らないように、清掃を行うことの重要性が繰り返し伝えられました。

過去の講習で問い合わせが多かった、接着系の標準外施工についても解説。性能に関する事項では、強度算定の考え方の許容荷重について、長期、短期、最大の数値の解釈を確かめました。

講習会終了時に、協会より修了証が受講者11名に手渡されました。



☆ 中堅技術者フォローアップ研修を開催

[担い手確保育成・企業対策委員会事業]

6月27日(火)28日(水)の2日間、中堅技術者フォローアップ研修を、さいたま市南区の別所沼会館ヘリテイジ浦和にて開催いたしました。この研修は、建設業で働く方々の離職率を減らし、技術者にとってより良い環境づくりのため、入職より1年以上から中堅社員の方々を対象として行われております。講師はM&MC 合同会社代表の國實 誠氏と、SEEDO 代表の関根康明氏。1日目は電気設備工事におけるモチベーションアップ、部下育成の重要性、コミュニケーション能力の向上、職場の問題の発見と役割に応じた行動変化、安心して仕事ができる会社作り、組織力強化と社員の対応、解決の仕方を考えました。終了後には、職場での問題点と解決方法について懇談会も行わ



れました。

2日目は、現場力とは、現場の知識、キャリアアップの方法、施工管理、工程表作成、安全管理の進め方、工事写真から学ぶこと、電気工事業のこれからについて研修しました。

研修終了後、各自に修了証が手渡されました。

☆ 平成29年度安全大会を開催

[事故防止対策委員会事業]

7月5日(水)建産連研修センターにおいて平成29年度安全大会を開催いたしました。

○訓 示 埼玉労働局 労働基準部 健康安全課 課長 塩野七重氏

○安全講話 (株)建設経営サービス 監理技術者講習専任講師

安全コンサルタント 相蘇淳一氏

『もしも、あなたの現場で災害がおきたら！～いざという時にあわてないために～』

岡村会長は開会にあたり、働き方改革について触れ、「労働生産性が上がらないまま、休日を増やし、時間外労働を減らせば、我々中小零細企業の経営は成り立ちません。しかし何とかしなければいけないとなれば、現場での安全軽視につながらないか、ということが危惧されます。建設工事は現場



で働く一人ひとりの力で支えられているわけです。もちろん工事は施工状態によって、刻一刻と変化するわけですから、安全の確保にも当然関わってきます。あつてはならないことですが、安全ルールを無視、あるいは端折っては、現場の安全確保はできません。とにかく安全を第一に仕事をお願いしたいということで、本日のあいさつに代えさせていただきます」と会員企業における管理の徹底を要請しました。

訓示で塩野課長は、昨年の管内における建設工事での死亡災害が6人と、前年から9人減少したことについて、企業、関連団体の安全教育の徹底による成果として評価しました。しかし、ことしに入ってから、死傷災害、墜落・転落事故が再び増加傾向にあることを危惧。その上で「日々の仕事の中でこうすれば安全だという常識を持っておられると思います。会社や現場に属して働く人たちの常識。この常識が安全です。この文化をこれからもぜひ継承していただきたい」と述べられました。



[塩野七重氏]

安全講話では相蘇氏が、いざというときにあわててしまい、正確な状況を忘れてしまうことなどを



[相蘇淳一氏]

防ぐため、実用的に使える対応マニュアルの作成を指導されました。全国で5万人の監督者が使用中で、保存版としても活用できるものです。この日は手順に沿って、事故発生時の第一報者から作業所担当者への連絡、救急車の要請手順などを参加者が実演しました。「建設業で働く人は、関係法令を理解したうえで、安全管理を行わなければならないというのが私のポリシーです。

事故が起きたら絶対に後悔します」と、企業、個人が受けるダメージとして、刑事上の責任や、損害賠償責任を問われたケースなど、実例をもとに紹介されました。

終わりに、町田事故防止対策委員長の下、本年度のスローガン

『組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化』

を唱和しました。



[今年度出席者への記念品 検電器]

☆ 足場の組立て等作業主任者技能講習を開催

[埼玉労働局登録教習・技術研究委員会事業]

7月6日(木)7日(金)に、足場の組立て等作業主任者講習を建産連研修センターにおいて開催いたしました。ケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏を講師に迎え、16名が受講。講習後の修了試験には全員が合格し、修了証が発行されました。



☆ 第二種電気工事士試験（技能）受験準備講習会を開催

[担い手確保育成・技術研究委員会事業]

埼玉建産連研修センターにおいて、7月11日(火)12日(水)の二日間にわたり第二種電気工事士試験(技能)受験準備講習会が開催されました。講師に渡辺一雄氏(WSK Brain Group & RIC 代表)を迎え、本年度から判定基準変更により欠陥が一つでもあれば不合格となるなどの試験概要の説明の後、



合格するための重要ポイントについて学びました。

公開された候補問題13問全ての作業ポイントを学び、模擬試験では複線図を描かずに作品を完成させました。本試験は7月23日(日)、合格発表は9月1日(金)の予定です。

☆ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習を開催

[埼玉労働局登録教習・技術研究委員会事業]

埼玉建産連研修センターにおいて、7月13日(木)14日(金)15日(土)と、7月13日(木)14日(金)17日(月)の3日間2コースで酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習を開催いたしました。

1・2日目の学科講習は工学博士の久保田隆氏と重松製作所の久米史朗氏、ケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏を、3日目の実技講習は有限会社エコ・セフティの吉野巖氏と労働衛生コンサルタント事務所の土戸善博氏を講師に迎え、24名が受講。各講習後の修了試験には全員が合格し、修了証が発行されました。

